

# 謹賀新年

(一社)長野県理学療法士会 会長 佐藤博之



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、長野県理学療法士会の活動に際し、ご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に「2類相当」から「5類」に引き下げられ、徐々に感染拡大前の生活に戻りつつあります。しかし感染症はなくなったわけではなく、医療機関や福祉介護現場においては、引き続き感染対策を行いながら業務を遂行している現状だと思えます。心より敬意を表します。

昨年を振り返ってみますと、2022年2月にロシアがウクライナに侵攻してからずっと戦争状態が続いています。また2023年10月にパレスチナのガザ地区を支配するハマスによるイスラエルへの攻撃によって勃発したパレスチナ・イスラエル戦争も終息の目途は全く立たないまま現在も多くの犠牲者が出続けています。

国内では、5月には中野市で、市議会議長の長男が警察官2人を含む4人を殺害、猟銃を持って約12時間にわたり自宅に立てこもる悲惨な事件が身近で発生しました。12月には、ダイハツ工業が国の認証取得の不正問題で、国内外のすべての車種の出荷を停止するという事態になりました。

一方で、3月には第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が開催され、日本が前回王者の米国を下し、3大会ぶり3度目の優勝を果たしました。大会の最優秀選手(MVP)には大谷が選ばれたのは脳裏に焼き付いています。10月には藤井聡太八冠が誕生し、史上初の八大タイトル全冠制覇により日本中が歓喜にわきました。

気がつけば2025年地域包括ケアシステムの完成年まであと1年に迫っています。各市町村により完成度や成熟度に格差があると言われていています。これから2040年問題、さらには地域共生社会の実現に向け、より積極的なリハビリ専門職の活躍が期待されるところです。

2024年は、トリプル改定の年に当たり、おおむねプラス改定となる予定ですが、特にリハビリテーション専門職の処遇改善(賃上げ)については注目され、改定される見通しとなりました。まず我々リハビリテーション専門職が離職することなくしっかりと生活基盤を作り上げたうえで、県民の皆様の健康増進に尽力していくことが重要です。

また今後生産労働人口減少や、医療需要の減少、介護需要の増大、地域共生社会の実現等、現在の我々の業務形態が変わっていくことが予想されます。患者様だけでなく、我々リハビリテーション専門職も医療から介護へシフトをしていかなければならない時代がやってきます。また予防領域や産業領域の理学療法がさらに求められてきます。これに対応すべく、時代に沿ったサービスが提供できるよう、研鑽を重ね、スキルチェンジができるように準備をしていかななくてはなりません。

当会では2024年4月から、会費の減免や会員の研修会等の参加費を無償化し、より参加しやすく、よりスキルアップできるように支援して参ります。

本年もご支援、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。



副会長 瓜尾昌恵

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ここ数年、協会をはじめ県士会では、いかにして「組織力」を上げられるのか、が大きな課題となっております。どうしたら、会員の皆様の県士会に所属して良かったという思いに繋がられるのか？また、県士会の事業や活動に参加してみよう、という協働意識を高めていくことができるのか？について、理事会はじめ部局でもしっかりと考え活動していきたいと存じます。

本年も、多くの会員の皆様に積極的に士会事業に参画いただき、地域に根ざす活動を広げていけるよう、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



副会長 林 有理

謹んで新春をお祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の中でも WEB の活用により士会活動が継続でき、研修会にも気軽に参加できる、県外者の参加も増えたという利点がある反面、顔の見える関係や横のつながりが薄くなっている現状があります。来年度は中止であった事業の再開や WEB であったものを対面式へ変更する事業が増えます。そのような場を活かし、顔の見える関係づくりや若い会員の皆様の意見も聞かせていただき、士会活動の活性化に尽力していきたいと思えます。今後とも本会へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



副会長 大見朋哲

謹んで新春のお喜び申しあげます。

今年はオリンピックイヤーですが、4年後の令和10年度に長野県で開催される予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、長野県士会としてスポーツサポート活動が本格化していく予定です。スポーツサポートに限らず県士会活動全般での成果の検証と情報の公開を進めることで、「分かりやすく、求められる県士会」として、運営に努めて参りたいと考えます。皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。本年もご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。